

会 議 録

- 1 会議の名称 図書館協議会
- 2 開催日時 令和7年3月28日（金）午前10：30～12：00
- 3 開催場所 熊取町立熊取図書館 2階ホール
- 4 議題 案件1 令和7年度図書館事業計画について
案件2 その他
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 1人
- 7 審議会等の概要

●案件1 令和7年度図書館事業計画について

【事務局からの説明】

「令和7年度図書館事業計画」（事前配付資料）について、重点的に取り組むものや新しく取り組むもの、令和6年度と異なるものを中心に説明。施策番号④ICTを活用した積極的な活用、施策番号⑦万博・大阪をテーマとしたコーナーづくり・特集展示、施策番号⑮大規模改修の実施に向けた設計業務の実施、施策番号㉑子ども読書活動推進計画の次期策定に向けた取組みやJICA関西と観光大学との3者で開催予定「多言語えほんひろば」、施策番号④㉑住民との協働による事業等について説明した。

【委員からの主な意見・感想等】

○施策番号⑮の中の読書通帳について、自治体によっては子ども自身が書く方式の独自の通帳を作成し配付している。感想を書く欄なども有り、感想から発展して、自分なりの表現ができるようになるなど、書く力に繋がるものでなので、学校での取組みとして検討できないか。

→＜他委員＞本を読んだ感想を書かせると、嫌がって読まなくなる傾向もあるので、学校での強制ではなく、読書ノートを書きたい子は書くといいが、自由に楽しく読書することで、子どもたちを導いて行けたらいいと思う。

○図書館で万博のコーナーを作ったことについて、万博を推進してる方、推進していない方、子どもたちを連れて行くことに心配をしている教育委員会など、いろいろな意見がある。それを住民自身一人ひとりが考えることのできるコーナーにして欲しい。図書館法3条7項の「時事問題

を提供をする」は、市民に日本のいろんな身の回りのことだけではなく、世界の情報やいろんな情報を提供していくことが図書館の責任であるということなので、そのことをコーナーづくりにおいてお願いしたい。

○大規模改修にあたり、おしゃれな、もしくはどこかとコラボするなど、そういった活性化に繋がるようなことをするか教えてください。

→<事務局>今、図書館の世界では、おしゃれな改革をしている図書館と、オーソドックスな図書館と二分化してるような状況で、熊取図書館が目指している方向は、基本的なことを積み上げていくオーソドックスな図書館の方向で考えている。ただ、おしゃれ感というのは大事だと思っているので、少し目新しいものも取り入れながら進んでいきたいと思う。

→<委員長>住民がどういうものを望んでつくっていくかというプロセスが重要。図書館の役割の1つは、主権者がまちの主体になっていくための情報を学ぶ場である。

○国外の図書館で利用者やスタッフが使いやすく高さを変えられようなカートみたいなものがあって、体に優しいなと感じたので、大規模改修のときなどにそういったものを導入できたらいいのではと思った。

○不登校の子と本を結びつけられないか。不登校対応の教育支援センターができたので、町内全体で、どういった取り組みをしたら子どもたちにとっていいのか、意見等あればお願いしたい。

→<事務局>教育子どもセンターに本を置くような場所を用意してもらえば団体貸出できる話をしている。今は子どもが図書館に来る日もあって、自由に館内を見ている様子が見受けられる。

→<委員>いろんな図書館の役割があるが、そういう子どもたちに図書館を居場所にしていただきたいと思う。

→<委員>国外の図書館では子どものフロアーに学習ルームがあり、子どもの学習をマンツーマンで見守るサポートの方がついていて。自由に寝そべて本を読んだりできるフロアーや、静かに勉強したり個別で過ごせる場所があったりいろいろあるが、そこに1人1人スタッフがついていた。スタッフは図書館職員か、地域のボランティアか確認していないが、不登校の子どもたちが図書館を利用するときにもサポートする一緒に過ごす人が必要になると思うので、一段と地域の方と繋がっていったらと思う。

○図書館の行事チラシや活動報告を見ると、協働している住民団体グループが増えているので、図書館を利用する人の裾野が広がってきているのではないかな。令和6年度の活動報告ではそういったところを取り入れてもらいたい。

→<事務局>令和6年度の活動報告は工夫したいと思う。住民団体の広がりについては、30周年記念事業の「としよフェス」では「ひとハコ図書館」などにいろんな団体の参加があった。また、入口横に「お店コーナー」ができたことやキッチンカーの出店で、事業者によるボランティアもあり、その一つのまちサロン・まちセミナーでは、地域のいろんな力で催しの広がりが出てきている。

○いろいろな地域や事業者で、1箱幾らで1ヶ月貸して、その中で自分の好きな本を並べて、来てもらった人は好きに読んでもらっていいというシステムがすごい人気があるらしい。自分の店の本棚をちょっと有効活用して「ひとハコ図書館」のようなことをしていこうかなと思っている。

○2040年以降は、少子高齢化による労働力不足や人口減少の中で、図書館に行けないシニア層が増えてくる。施策番号⑩「一人ひとりの住民への読書活動への支援」のところで、宅配サービスなどを具体的な施策とか、具体案を構築していく時期には差しかかっていると思う。紙媒体でしか読めない人間にとっては、電子図書館では課題があり、図書館に来なくても本を読みたいという方に対する本の提供について具体的に検討する必要があるのではと感じる。

→<事務局>図書館のずっと懸案事項になっていて、課題だと認識している。

→<委員長>2040年問題は身近な話題の現実ですけど、2100年にはどういう世界になっているのか、図書館では、そういうのをみんなで考える情報を提供して、それが現実であるということを考えていけないといけない。ぜひ図書館でも企画をしてもらいたい。

○絵本から読み物に移行する時期の小学校低学年ぐらいの子どもたちにどういった本を家庭で薦めていいか難しい。絵本に比べて、表紙を見せての展示や特集が少ないので、低学年ぐらいや読み物を読み始める子どもたちへの特集があってもいいのかなと思う。

●案件2 その他

①開館30周年記念冊子については、次回の図書館協議会で配付予定

②広報くまとり2月号の図書館特集の報告

雑誌「みんなの図書館」4月号に、30周年記念事業「としよフェス」の記事掲載の報告

③熊取町第4次行財政構造改革プランアクションプログラムの改革項目として、「図書館の管理運営方法の検討」が掲載された報告

④図書館協議会は5～6月頃に開催予定

8 審議会の情報	名称	図書館協議会
	根拠法令等	図書館法、図書館条例
	設置期間	平成6年4月1日～
	所掌事項	図書館の運営に関すること
	委員数	10名

9 担当課	図書館
-------	-----